

4月度 例会 個人 山行報告書		報告者	渡辺勝利	参加 メンバー	CL:渡辺勝利 SL:青山武、塚本英吾 メンバー:青木久 他 20名 合計 23名
山域	奥三河	報告日	04 / 12		
山名	寧比曾岳	山行日	10年 04月 11日 (日)		

山行目的	奥三河の春山探訪	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	----------	--------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

1/2.5万地形図:

4/11 曇り後、晴れ

8:30~9:00
伊勢神ドライブイン
開会式後旧伊勢神
トンネル近くの駐車場
に全車移動
(約 15台 駐車可)

9:15 駐車場発
9:25 伊勢神峠
10:10~20
旧いこいの村
10:50 大多賀峠
11:00 亀の甲岩
11:10~20
第2ベンチ
12:00~13:20
寧比曾岳頂上
14:00 大多賀峠
15:00 駐車場着

<解散>

山行報告 今年で5回目を迎える春のイベントは毎年好天に恵まれる。山岳部お抱えの気象予報士大矢君からの「今日一日はなんとか持ちそうだ」の情報どおりの展開となり今年も曇り後、晴れの絶好の登山日和に恵まれ、早春の寧比曾岳岳を十分に堪能する楽しく賑やかな山歩きができた。どうやらメンバー内に晴れ男が女がいるようだ。伊勢神ドライブインに集合し開会式を行った後、車にて旧伊勢神トンネル近くの駐車場まで移動。出発準備をする頃には朝から降っていた小雨もすっかり上がり雨の心配のなさそうな空模様となってきた。大多賀峠へ直行する大矢父子を残し、伊勢神峠目指して出発。ちょっと急な林道を歩き始めると道端から芽を出し始めた「おばゆり」や「漉油」についての蘆薈が石井さんから出始める。こういう余裕もOB山行ならではの。10分程で峠に出る。ここは三河から南信州へ馬に塩を積んで越えた難所でもあり、往時を偲ばせる風情のある場所で伊勢神宮の遥拝所も設置されている。ここから東海自然歩道となり樹林の中を旧憩いの村経由で大多賀峠まではわずかな距離であるが、旧憩いの村の大きな施設は全て閉鎖され、廃墟と化している。勿体ない話だ。大多賀峠からは階段を登るとよく整備された登山道となり、杉の植林の中を亀の甲岩を経て高度を稼ぐ。それにしても皆さんお元気だ。弱音を吐く人は誰一人としていない。途中で大多賀峠から先行した大矢父子と合流して頂上へ。その頃には天候もすっかり回復して陽光うららかな中、頂上のベンチから全員が

思い思いに春まだ浅い奥三河の山並の眺望を楽しむことができた。そう、**《静ころなく語りつ登る》**皆で手際よく作った「汁粉」も出来上がり、全員が舌鼓を打つ。山では「汁粉」も又うまい。要は何を食べても一汗かいた後だからうまいのだ。長休後、下山に移る。復路は第2ベンチから真直ぐに尾根を下るルートを通り、大多賀峠に至り、そこから往路と同じ伊勢神峠経由で駐車場に余裕を持って帰りついた頃には、春の日差しが燦爛と降り注いでいた。

リーダー所見
天候が心配されたがそれも杞憂に終わり、全員が奥三河の春山歩きを十分に堪能されたことと思います。予定通りの行動時間で安全に下山できたことは皆様のご協力の賜物と感謝します。低山は低山なりに楽しみ方も人それぞれにあるので、これから年齢に合った身の丈に相応しい山域、山名を選んで計画していきたい。



寧比曾岳頂上
久かたの 友と巡りて 寧比曾岳
静ころなく 語りつ登る (読み人 油井 武)

確認
(リーダー)
渡
10/04/12
辺
(報告者)